

### Ⅲ. 調査結果の要約



## 1 区の施策および評価について

---

### (1) 居住年数

【本文 59ページ】

練馬区に住んで何年になるか聞いたところ、「31年以上」（38.3%）と「21年～30年」（16.0%）を合わせた『長期居住者』（54.4%）が5割台半ばとなっている。また、「11年～20年」の『中長期居住者』（18.4%）が2割近く、「6年～10年」の『中期居住者』（11.4%）が1割台、「1年～5年」（11.7%）と「1年未満」（3.5%）を合わせた『短期居住者』（15.2%）が1割台半ばとなっている。

### (2) 住みごころ

【本文 61ページ】

練馬区の住みごころを聞いたところ、「住みよい」（38.5%）が4割近く、「まあ住みよい」（56.3%）が5割台半ばで、この2つを合わせた『肯定的評価』（94.8%）が9割台半ばを占めている。一方、「あまり住みよくない」（3.8%）、「住みにくい」（0.2%）を合わせた『否定的評価』（4.0%）は1割に満たない。

### (3) 練馬区が住みよいと感じるところ

【本文 66ページ】

練馬区が住みよいと感じるところを聞いたところ、「みどりが豊かで環境がよい」（57.5%）が6割近くと最も多く、次いで「交通の便がよい」（49.9%）、「買い物がしやすい」（46.2%）、「治安が比較的よい」（45.2%）、「子育てがしやすい環境が整っている」（14.1%）などの順となっている。

### (4) 練馬区が住みにくいと感じるところ

【本文 70ページ】

練馬区が住みにくいと感じるところを聞いたところ、「交通の便が悪い」（21.3%）が2割を超えて最も多く、次いで「健康や医療に関する施設やサービスが不足している」（20.0%）、「防災の面で不安がある」（18.3%）、「働く場所があまりない」（17.2%）、「近隣と疎遠で地域住民の関係が希薄である」（16.2%）などの順となっている。

### (5) 定住意向

【本文 74ページ】

これからも引き続き練馬区に住みたいと思うか聞いたところ、「ずっと住み続けたい」（38.8%）と「当分は住み続けたい」（35.1%）を合わせた『定住意向』（73.9%）が7割を超えている。一方、「できれば区外へ移りたい」（3.5%）と「区外へ移りたい」（0.8%）を合わせた『転出意向』（4.3%）は1割に満たない。

### (6) 練馬区への愛着

【本文 78ページ】

練馬区に愛着を感じるか聞いたところ、「愛着を感じる」（34.1%）と「どちらかというとな愛着を感じる」（44.6%）を合わせた、愛着を『感じる』（78.7%）が8割近くとなっている。一方、「どちらかというとな愛着を感じない」（4.8%）と「愛着を感じない」（1.9%）を合わせた、愛着を『感じない』（6.7%）は1割に満たない。

### (7) 練馬区に対する誇り

【本文 82ページ】

練馬区に誇りを感じるか聞いたところ、「誇りを感じる」（13.3%）と「どちらかというとな誇りを感じる」（34.0%）を合わせた、誇りを『感じる』（47.3%）が5割近くとなっている。一方、「どちらかというとな誇りを感じない」（9.4%）と「誇りを感じない」（5.6%）を合わせた、誇りを『感じない』（14.9%）は1割台半ばとなっている。

## (8) 施策への満足度と必要性

【本文 87・89ページ】

満足度について『満足評価』と『不満評価』のそれぞれ上位5項目は、以下のようになっている。

『満足評価』上位5項目		『不満評価』上位5項目	
①みどりの保全と創出	(76.8%)	①交通安全対策	(59.4%)
②健康づくりの推進	(76.6%)	②区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり	(48.9%)
③循環型社会づくり	(71.9%)	③駅周辺のまちづくり	(44.0%)
④開かれた区政	(67.2%)	④地域環境の保全	(43.3%)
⑤都市農業の振興と都市農地の保全	(66.3%)	⑤災害に強い安全なまちづくり	(42.8%)

必要性について『必要性が高い評価』と『必要性が低い評価』のそれぞれ上位5項目は、以下のようになっている。

『必要性が高い評価』上位5項目		『必要性が低い評価』上位5項目	
①災害に強い安全なまちづくり	(87.8%)	①観光の推進	(40.5%)
②医療環境の充実	(87.6%)	②地域活動の活性化と多文化共生社会の実現	(37.3%)
③高齢者福祉	(86.0%)	③平和と人権の尊重、男女共同参画の推進	(34.6%)
④交通安全対策	(85.4%)	④都市農業の振興と都市農地の保全	(32.0%)
⑤地域防災力の向上、 安全・安心な地域づくり	(84.4%)	⑤文化・生涯学習・スポーツの振興	(30.6%)

## (9) 施策への要望

【本文 98ページ】

特に力を入れてほしい施策を第1位から第3位まで挙げてもらった。その3つの累計をみると、「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」(19.6%)が約2割と最も多く、次いで「交通安全対策」(19.0%)、「子育て支援」(18.9%)、「高齢者福祉」(18.8%)、「医療環境の充実」(17.2%)、「災害に強い安全なまちづくり」(16.9%)などの順となっている。

## (10) 区政情報の入手先

【本文 108ページ】

区政の情報を主に何から入手しているか聞いたところ、「ねりま区報」(69.5%)が約7割と最も多く、次いで「区ホームページ(携帯サイト、スマートフォンサイトを含む)」(37.4%)、「わたしの便利帳」(25.8%)、「区の施設・窓口にあるポスターやパンフレット」(18.4%)、「区役所に直接問合せ(電話を含む)」(8.4%)などの順となっている。

## (11) 『ねりま区報』の閲読度

【本文 110ページ】

『ねりま区報』をどの程度読んでいるか聞いたところ、「詳しく読んでいる」(11.8%)と「必要な記事は読んでいる」(45.6%)を合わせた『読んでいる』(57.4%)は6割近くとなっている。一方、「あまり読んでいない」(18.8%)と「まったく読んでいない」(19.2%)を合わせた『読んでいない』(38.0%)は4割近くとなっている。

### (11-1) 『ねりま区報』の満足度

【本文 113ページ】

『ねりま区報』を「詳しく読んでいる」または「必要な記事は読んでいる」と答えた方(680人)に、『ねりま区報』にどの程度満足しているか聞いたところ、「とても満足している」(9.6%)と「満足している」(73.8%)を合わせた『満足評価』(83.4%)は8割を超えている。一方、「あまり満足していない」(13.8%)と「満足していない」(1.0%)を合わせた『不満評価』(14.9%)は1割台半ばとなっている。

### (11-2) 『ねりま区報』の閲覧手段

【本文 116ページ】

『ねりま区報』を「詳しく読んでいる」または「必要な記事は読んでいる」と答えた方(680人)に、『ねりま区報』の閲覧手段を聞いたところ、「紙面」(88.5%)が9割近くと最も多く、「パソコンを使って見ている」(9.7%)が約1割、「スマートフォンやタブレットを使って見ている」(6.8%)が1割未満となっている。

### (11-3) 『ねりま区報』を読んでいる理由

【本文 118ページ】

『ねりま区報』を「あまり読んでいない」または「まったく読んでいない」と答えた方(450人)に、その理由を聞いたところ、「新聞を購読していない」(45.1%)が4割台半ばと最も多く、次いで「入手方法がわからない」(32.0%)、「必要な記事がない」(19.8%)、「つまらない」(9.8%)の順となっている。

### (11-4) リニューアル後の『ねりま区報』の読みやすさの印象

【本文 120ページ】

リニューアル後の『ねりま区報』の読みやすさの印象を聞いたところ、「非常に読みやすくなった」(4.9%)と「読みやすくなった」(31.8%)を合わせた『読みやすくなった』(36.7%)は3割台半ばとなっている。一方、「読みづらくなった」(2.2%)は1割に満たない。「リニューアルしたことに気づかなかった」(30.3%)は約3割となっている。

### (11-5) 『ねりま区報』に掲載・連載してほしい内容(企画)

【本文 123ページ】

『ねりま区報』に掲載・連載してほしい内容(企画)を聞いたところ、「区立施設の紹介」(44.9%)が4割台半ばと最も多く、次いで「区が推進している施策の詳しい紹介」(34.3%)、「区内の名所・公園の紹介」(32.3%)、「区民や地域で活動する団体の紹介」(26.2%)などの順となっている。

### (12) 『練馬区情報番組ねりまほっとライン』の認知度

【本文 126ページ】

『練馬区情報番組ねりまほっとライン』を知っているか聞いたところ、「知っている」(28.5%)は3割近くとなっている。一方、「知らない」(67.1%)は7割近くとなっている。

### (12-1) 『練馬区情報番組ねりまほっとライン』の視聴度

【本文 128ページ】

『練馬区情報番組ねりまほっとライン』を「知っている」と答えた方(337人)に、番組の視聴度を聞いたところ、「いつも(ほぼ毎回)見ている」(3.6%)と「興味のある内容のときだけ見ている」(41.5%)を合わせた『見ている』(45.1%)は4割台半ばとなっている。

## 2 区民参加と協働について

---

### (1) 練馬区政推進基本条例「区民の参加・参画」「協働の推進」の認知状況

【本文 130ページ】

練馬区政推進基本条例「区民の参加・参画」「協働の推進」を知っているか聞いたところ、「条例も取り組みも知らない」(75.0%)は7割台半ばとなっている。一方、「条例も取り組みも知っている」(1.8%)、「条例は知っているが、取り組みは知らない」(9.0%)、「条例は知らないが、取り組みは知っている」(9.2%)はいずれも1割未満となり、条例・取り組みの『両方またはいずれかを知っている』(19.9%)は約2割となっている。

### (2) 区政への参加経験

【本文 133ページ】

区政への参加経験を聞いたところ、「どれにも参加したことがない」(80.2%)が約8割となっている。次いで「区の窓口で意見や相談を言いに行く」(4.8%)、「小規模な会場での説明会や意見交換会」(3.6%)、「区が主催する事業や催しに、実行委員やサポーターなどとして参加」(3.0%)の順となっているが、いずれも1割未満となっている。

#### (2-1) 区政へ参加したことがない理由

【本文 135ページ】

区政へ「どれにも参加したことがない」と答えた方(949人)に、参加したことがない理由を聞いたところ、「参加の仕方がわからない」(50.4%)が約5割と最も多く、次いで「興味や関心があるテーマがない」(17.6%)、「興味や関心があるテーマはあるが、参加する時間がない」(15.9%)、「参加しても自分の意見が区政に反映されると思わない」(15.6%)などの順となっている。

### (3) 参加したいと思う区政への参加方法

【本文 137ページ】

参加したいと思う区政への参加方法を聞いたところ、「パソコンやスマートフォンなどで、いつでも参加できるもの」(52.3%)が5割を超えて最も多く、次いで「会場での説明会」(21.4%)、「無作為抽出された区民を対象とした意見交換会(区政モニター)」(18.7%)、「区が、地域の団体や事業者のところに赴いて行う意見交換会」(15.0%)などの順となっている。

### (4) 区政についての意見交換会に参加する場合に希望する規模

【本文 139ページ】

区政についての意見交換会に参加する場合に希望する規模を聞いたところ、「教室のような中規模な会場(30~50人程度が参加)」(45.5%)が4割台半ばと最も多くなっている。次いで「より小規模な会場(10~20人程度が参加)」(27.1%)、「体育館のような大規模な会場(100人以上が参加)」(18.3%)の順となっている。

### (5) より多くの区民が区政に参加しやすくするために有効と思う区の取り組み

【本文 141ページ】

より多くの区民が区政に参加しやすくするために有効と思う区の取り組みを聞いたところ、「参加方法について、分かりやすく情報を発信すること」(57.0%)が6割近くと最も多く、次いで「身近に相談や意見を言える場所があること」(35.5%)、「理解しやすい区政資料を作成すること」(28.2%)、「区民の区政参加について区職員が意識を高めること」(14.6%)などの順となっている。

## （６）近隣住民や身近な地域とのつながり

【本文 143ページ】

近隣住民や身近な地域とのつながりについて聞いたところ、「会えば挨拶をする程度」（50.3%）が約5割と最も多く、次いで「立ち話をする程度」（24.2%）が2割台半ば、「困ったときに相談をしたり、助け合ったりしている」（13.0%）が1割台となっている。一方、「付き合いはない」（10.6%）は約1割となっている。

## （７）近隣住民や身近な地域とのつながりを持つ意向

【本文 145ページ】

近隣住民や身近な地域とのつながりを持つ意向を聞いたところ、「持ちたい」（17.4%）と「どちらかというを持ちたい」（50.9%）を合わせた『持ちたい』（68.3%）は7割近くとなっている。一方、「どちらかというを持ちたくない」（24.8%）と「持ちたくない」（4.1%）を合わせた『持ちたくない』（29.0%）は3割近くとなっている。

## （８）身近な地域情報の入手手段

【本文 147ページ】

身近な地域情報の入手手段を聞いたところ、「まちの中にある掲示板」（46.9%）が4割台半ばと最も多く、次いで「町会・自治会の回覧板」（42.1%）、「近隣の知人などからの口コミ」（19.0%）、「地域で配布されるチラシ（ミニコミ誌）など」（14.9%）などの順となっている。

## （９）町会・自治会についての考え方

【本文 149ページ】

町会・自治会についての考え方を聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は「住みやすいまちづくりのために重要である」（77.1%）が8割近く、「自発的な意思で参加することが重要である」（76.4%）が7割台半ば、「誰もが参加することが重要である」（48.8%）が5割近くとなっている。

## （10）町会・自治会に実施して欲しい活動

【本文 153ページ】

町会・自治会に実施して欲しい活動を聞いたところ、「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた『あてはまる』は「防災、防犯、防火、交通安全など」（85.8%）が8割台半ばと最も多く、次いで「高齢者支援（高齢者の見守り、居場所づくりなど）」（80.9%）、「清掃、緑化、リサイクルなど」（78.5%）、「障害者支援（障害者の見守り、声かけなど）」（71.4%）、「ボランティア活動の機会づくり」（66.0%）などの順となっている。

## （11）町会・自治会の加入状況

【本文 164ページ】

町会・自治会の加入状況を聞いたところ、「加入している」（49.1%）が約5割、「加入していない」（42.6%）が4割台、「加入していたことがある」（4.5%）が1割未満となっている。

### （11-1）町会・自治会の活動への参加状況

【本文 167ページ】

町会・自治会に「加入している」と答えた方（581人）に、町会・自治会の活動への参加状況を聞いたところ、「会費の負担のみで活動に参加していない」（44.6%）が4割台半ばと最も多く、次いで「つきあい上、必要最低限の範囲で参加している」（25.3%）、「できる範囲で活動に参加している」（25.1%）などの順となっている。

#### (11-2) 町会・自治会に参加して良かったこと

【本文 169ページ】

町会・自治会に「加入している」と答えた方（581人）に、町会・自治会に参加して良かったことを聞いたところ、「地域の情報が得られる」（39.9%）が約4割と最も多く、次いで「人とのつながりができる」（31.2%）、「地域の一員として、安心して生活できる」（20.8%）などの順となっている。

#### (11-3) 町会・自治会に参加して不満に感じたこと

【本文 171ページ】

町会・自治会に「加入している」と答えた方（581人）に、町会・自治会に参加して不満に感じたことを聞いたところ、「当番などがあり、活動への負担感がある」（32.7%）が3割を超えて最も多く、次いで「メリットがわからない」（15.1%）、「やめづらい雰囲気がある」（9.6%）、「人づきあいが面倒である」（6.7%）などの順となっている。

#### (11-4) 町会・自治会の活性化のために区に取り組んで欲しいこと

【本文 173ページ】

町会・自治会に「加入している」と答えた方（581人）に、町会・自治会の活性化のために区に取り組んで欲しいことを聞いたところ、「町会・自治会へ依頼する事務の効率化、区への申請手続きなどの事務の簡素化」（31.3%）が3割を超えて最も多く、次いで「区ホームページや区報などでの活動の周知」（22.4%）、「活動に対する資金助成」（22.0%）、「運営に役立つマニュアルなどの作成・配布」（16.5%）などの順となっている。

#### (11-5) 町会・自治会に参加していない理由

【本文 175ページ】

町会・自治会に「加入していない」「加入していたことがある」と答えた方（557人）に、町会・自治会に参加していない理由を聞いたところ、「加入方法が分からない」（40.2%）、「誘われない」（39.9%）がともに約4割と多く、次いで「活動の時間が取れない」（34.8%）、「当番などがあり活動への負担感がある」（31.4%）などの順となっている。

#### (12) 町会・自治会が加入者を増やすために有効と思う取り組み

【本文 177ページ】

町会・自治会が加入者を増やすために有効と思う取り組みを聞いたところ、「負担になりすぎない範囲で活動に参加できる仕組み」（52.8%）が5割を超えて最も多く、次いで「お祭りやサークル事業など誰もが気軽に参加できる事業の充実」（39.1%）、「未加入者が、町会・自治会のイベント情報を手軽に入手できる仕組み」（28.5%）、「無理なく続けられるようにするための活動内容の見直し」（28.1%）などの順となっている。

#### (13) 地域活動団体についての考え方

【本文 179ページ】

地域活動団体についての考え方を聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は「自発的な意思で参加することが重要である」（79.3%）が約8割、「住みやすいまちづくりのために重要である」（74.8%）が7割台半ば、「誰もが参加することが重要である」（36.9%）が3割台半ばとなっている。

#### (14) 地域活動団体の活動への参加状況

【本文 183ページ】

地域活動団体の活動への参加状況を聞いたところ、「参加している」（14.2%）は1割台半ばとなっている。「参加していない」（71.8%）は約7割となっている。



#### (14-1) 団体の活動分野

【本文 186ページ】

地域活動団体の活動に「参加している」と答えた方（168人）に、団体の活動分野を聞いたところ、「文化・生涯学習・スポーツ振興、健康づくり」（43.5%）が4割を超えて最も多く、次いで「PTAや学校応援団など、学校を中心とした活動」（32.7%）「防災、防犯、防火、交通安全など」（22.6%）、「高齢者支援」（16.7%）などの順となっている。

#### (14-2) 地域活動団体の最も大きな参加動機

【本文 188ページ】

地域活動団体の活動に「参加している」と答えた方（168人）に、最も大きな参加動機を聞いたところ、「活動内容に賛同した」（38.1%）が4割近くと最も多く、次いで「依頼された（誘われた）」（23.8%）、「地域の人と交流したかった・仲を深めたかった」（11.3%）などの順となっている。

#### (14-3) 地域活動団体の活動地域

【本文 190ページ】

地域活動団体の活動に「参加している」と答えた方（168人）に、活動地域を聞いたところ、「自分が住んでいる地域周辺（公共交通機関を利用しない範囲）」（82.7%）が8割を占め、「練馬区内で上記「1」以外の地域」（11.3%）が1割台となっている。「練馬区外」（3.6%）は1割に満たない。

#### (14-4) 地域活動団体の参加頻度

【本文 192ページ】

地域活動団体の活動に「参加している」と答えた方（168人）に、参加頻度を聞いたところ、「月に1～2回」（39.9%）が約4割と最も多く、次いで「週に1～2回」（18.5%）、「2～3か月に1回」「半年に1回」（ともに13.7%）、「週3回以上」（6.5%）、「1年に1回以下」（6.0%）となっている。

#### (14-5) 地域活動団体に参加して良かったこと

【本文 194ページ】

地域活動団体の活動に「参加している」と答えた方（168人）に、参加して良かったことを聞いたところ、「人とのつながりができる」（74.4%）が7割台半ばと最も多く、次いで「地域の情報が得られる」（44.0%）、「人の役に立てる喜びが得られる」（26.2%）、「自己実現ができる」（17.9%）などの順となっている。

#### (14-6) 地域活動団体に参加して不満に感じたこと

【本文 196ページ】

地域活動団体の活動に「参加している」と答えた方（168人）に、参加して不満に感じたことを聞いたところ、「特にない」（45.8%）が4割台半ばとなっている。不満として挙げられたなかでは、「当番などがあり、活動への負担感がある」（20.2%）が約2割と最も多く、次いで「活動が理解されない、仲間が増えない」（11.9%）、「人づきあいが面倒である」（7.1%）などの順となっている。

#### (14-7) 地域活動団体の活動に参加していない理由

【本文 198ページ】

地域活動団体の活動に「参加していない」「参加していたことがある」と答えた方（953人）に、参加していない理由を聞いたところ、「どんな団体があるかわからない（情報が無い）」（59.5%）が約6割と最も多く、次いで「活動の時間が取れない」（40.7%）、「誘われない」（31.0%）、「活動に興味や関心がない」（19.1%）、「一緒に活動する仲間がいない」（18.9%）などの順となっている。

### (15) 参加してみたい地域活動団体の分野

【本文 200ページ】

参加してみたい地域活動団体の分野を聞いたところ、「文化・生涯学習・スポーツ振興、健康づくり」（35.1%）が3割台半ばと最も多く、次いで「防災、防犯、防火、交通安全など」（18.0%）、「高齢者支援」（17.6%）、「環境美化、河川浄化、リサイクルなど」（16.0%）、「みどりの保全・推進」（15.9%）などの順となっている。一方、「1つもない（参加したくない）」（20.4%）は約2割となっている。

### (16) 地域活動団体がより活動しやすくなるために区に取り組んで欲しいこと

【本文 202ページ】

地域活動団体がより活動しやすくなるために区に取り組んで欲しいことを聞いたところ、「相談できる窓口の設置」（31.5%）が約3割と最も多く、次いで「活動の拠点となる場所の確保」（26.4%）、「活動に対する資金助成」（26.3%）、「活動の担い手となる人材育成」（22.5%）、「活動をする際の広報支援」（21.7%）などの順となっている。

## 3 グランドデザイン構想（区の将来像）について

### (1) 目指す将来像を示す上で重要なポイント

【本文 204ページ】

目指す将来像を示す上で重要なポイントを聞いたところ、「将来像を実現するための具体的な政策や事業があること」（51.9%）が5割を超えて最も多く、次いで「実現可能な将来像であること」（45.0%）、「希望を持てる明るい将来像であること」（30.7%）、「将来像をイメージできる分かりやすさがあること」（30.1%）などの順となっている。

### (2) 10年後の「暮らしの安心」のイメージ

【本文 206ページ】

10年後の「暮らしの安心」のイメージを聞いたところ、「医療環境の充実」（59.0%）が約6割と最も多く、次いで「高齢者を支える地域包括ケアシステムの確立」（57.3%）、「災害時における近所の助け合い」（40.1%）、「子育て環境の充実」（33.1%）、「地域におけるつながりや見守り」（24.3%）などの順となっている。

### (3) 10年後の「暮らしの楽しみ」のイメージ

【本文 208ページ】

10年後の「暮らしの楽しみ」のイメージを聞いたところ、「新鮮な野菜や果物が身近に手に入り、食卓に並んでいる」（44.4%）が4割台半ばと最も多く、次いで「子どもたちが、身近な公園などで元気に遊んでいる」（42.6%）、「充実した図書館や文化施設で知的好奇心が満たされている」（38.5%）、「まち歩きなどを通じて区内を散策し、練馬区の魅力を発見・体感している」（37.2%）などの順となっている。

### (4) 練馬区独立100周年を迎える30年後の望むまちの姿のイメージ

【本文 210ページ】

練馬区独立100周年を迎える30年後の望むまちの姿のイメージを聞いたところ、「みどりが育まれ美しい街並みが続くまち」（52.7%）が5割を超えて最も多く、次いで「公共・生活サービス施設が集積する利便性の高いまち」（44.6%）、「防災性に優れた安全・安心なまち」（36.5%）、「交通の利便性が高い円滑に移動できるまち」（31.7%）、「魅力的な個店や商店街が立地するにぎわいのまち」（29.8%）などの順となっている。

## 4 今回の調査内容について

---

### (1) 調査内容の難易度

【本文 213ページ】

今回の調査内容の難易度を聞いたところ、「やさしい（答えやすい）」と「どちらかという  
とやさしい（答えやすい）」を合わせた『やさしい（答えやすい）』は「グランドデザイン構  
想（区の将来像）について」（43.2%）が4割を超え、「区の施策および評価について」  
（37.2%）が4割近く、「区民参加と協働について」（29.6%）が約3割となっている。一  
方、『難しい（答えにくい）』はいずれも5割を超えており、「区民参加と協働について」  
（63.5%）が6割を超えて多くなっている。

### (2) 調査の質問量についての印象

【本文 217ページ】

調査の質問量についての印象を聞いたところ、「多い」（38.5%）、「どちらかという和多  
い」（42.7%）を合わせた『多い』（81.3%）が8割を超えている。「ちょうどよい」  
（15.6%）は1割台半ばとなっている。

